

## 学校敷地内完全禁煙についてのアンケート内容及び結果

### 県立学校

(全日制 55 校・定時制 12 校・分校 6 校・盲 1 校・聾 2 校・養護学校 5 校 合計 81 校)

1 学校の敷地内を完全禁煙とすることについて、どのようにお考えですか。(その理由もお書きください。)

(1) 賛成である。 (42校 51.8%)

(2) 止むを得ない。 (28校 34.6%)

(3) 分煙のままが良い。 (11校 13.6%)

(1)についての理由

- ・喫煙の害が叫ばれている現在において、健康教育をおこなう学校において禁煙にするのは当然である。
- ・生徒の健全育成と校内の安全管理のため是非必要である。

(2)についての理由

- ・受動喫煙防止や喫煙防止教育を推進するためにも、敷地内完全禁煙はやむを得ない。時代の流れである。

(3)についての理由

- ・完全に分煙しているのだからよい。副流煙などの対策をとっている。
- ・外部の人々や土日・夜間に学校施設を利用する人々への禁煙の徹底が困難である。

2 実施時期や方法について、どのようにお考えですか。

【1で(1)又は(2)を選んだ場合のみお答えください。】(1)又は(2)の学校合計 70 校

(1) 日程等は設定せず、できる学校から順次実施に移せばよい。

(17校 24.3%)

(2) 前倒しの目標年を定めて一斉に行うべきである。

(35校 50.0%)

(3) 前倒しの目標年を定めて段階的に行うべきである。

(18校 25.7%)

3 学校の敷地内を完全禁煙にすることによって想定される問題点及びその他特段のご意見があればお書きください。

- ・一度に完全実施は難しい。できる学校から実施してはどうか。
- ・校外で喫煙する姿を見られるなど問題が起こる可能性がある。
- ・定時制では、場所を決めて喫煙を認めていたが、校外で喫煙するようになると火災の心配がある。
- ・保護者や地域の人々の理解を得ることが難しい。
- ・1～2年の猶予をおいてはどうか。その間、禁煙に向けての治療等努力をするようにする。また、専門医の指導を受けられるシステムづくりも必要である。
- ・学校や官公庁が足並みを揃えて実施することが望ましい。